



越後 おとぎ話

ECHIGO OTOGIBANASHI

こんにちは。楯よう子です。

新潟のむかし話を朗読してYouTubeにアップしておりました。民話の母乳を飲んでいうちにわたしのなかからも言葉がわき出てきました。

越後おとぎ話としてお届けいたします。

この地に住むあなたに、そして地球のみんなにも。

2006年新潟県小学校図書館協議会編「新潟のむかし話2」▶



ここがどこかですって・・・時空を超えてただようわたしにはどこでも似たようなものだけど・・・ここは、この世とあの世がゆきあうところ・・・悠久城風の間よ。悠久城風の間HPでは楯よう子の朗読動画とブログの紹介を行っています▶

悠久城風の間ホームページ公開中



「新潟のむかし話2」からのパーティーシュ18話

「トラにゃーごの語り」

あなたのそばでひっそりと眠っている猫・・・猫はさりげなくあなたを見ていて、気づかれないほどかすかに、あなたにインスピレーションを与え、あなたを動かしているのかも。



ブログ

令和2年長月

秋の気配 西山日光寺を救った
「トラにゃーごの語り」



種本

「猫檀家」

心をうたれてじーんとする話



「夕日ぎんぎゃあの語り」

朝日と夕日のおかか、子どもがいなくなったら、抜け殻。飲んだくれて、立ち上がれない・・・朝日と夕日がもどってきて、わかった。子どもは、おひさまだったね。



ブログ

令和2年神無月

おひさまが隠れた 朝日になりたい弟
「夕日ぎんぎゃあの語り」



種本

「朝日と夕日」

かわいそうでなみだがでそうな話



「天狗どんわんの語り」

天狗は鼻っばしらが強いというけど、天狗どんわん、意外と気弱でシャイ？じさにだまされたのも気づかないで、ちよっといじらしい。天狗どんわんの鼻はどうなるのかな？



ブログ

令和2年神無月

神が留守でものどかな日 鼻が長くなった
「天狗どんわんの語り」



種本

「天狗のかくれ蓑笠」

とんちとちえでうーんとうなる話



「ムジナぬっぺらんの語り」

女にとって、生きるということは、きれいな顔を作ることなのかしら？何匹もの子をなした後も、きれいな顔を求めようとしたムジナ女房の恋の行方は？



ブログ

令和2年霜月

曇り空の下で 顔がほしい
「ムジナぬっぺらんの語り」



種本

「しっぺい太郎」

こわくてふるえる話



「かなり太郎ドンドコの語り」

太郎のへそはかかさまを求めて叫び続けた。太郎はかかさまを求めて再び地上に。お寺の鐘付き堂でかかさまに会えたと思ったその時、ビックリと稲妻が・・・



ブログ

令和2年霜月

深まる紅葉の季節へ 出べその秘密
「かなり太郎ドンドコの語り」



種本

「かなりりさまの子ども」

ふしぎさにひきこまれる話



「ネコ巫女ミーコの語り」

ミーコは本当は、忘れっぽくなんてなかったのよ。みんなをクールに見ていて、よくわかっていたのね。気動きがよくて、目立たないように、しなやかに動いて・・・



ブログ

令和2年師走

冴えわたる月の夜に キュートで神秘的な
「ネコ巫女ミーコの語り」



種本

「十二支の始まり」

おかしくておなかをかかえる話



「天人かかさ かつかの語り」

穏やかな日が急に奪われるのは困るわ。ただ、そのために、わたしは小太郎を授かったのだった・・・母であるわたしには母になる物語がありました・・・



ブログ

令和3年陸月

大雪のなかで てんじゆく国に帰れない
「天人かかさ かつかの語り」



種本

「天人女房」

かわいそうでなみだがでそうな話



「冥土めぐり法印の語り」

嘘をついたら、針千本飲ますとか、舌を抜かれるとか・・・でも嘘をつかないで生きていくことは、難しかった・・・わたしは、地獄に落ちるの？閻魔さまの裁きって本当にあるの・・・



ブログ

令和3年如月

寒波の合間に GO TO キャンペーン
「冥土めぐり法印の語り」



種本

「法印さまと医者どんと軽業師」

とんちとちえでうーんとうなる話



「大蛇となったあねさの語り」

池に落ちたり、おはぎをのどに詰まらせたり。人生には思いがけないことが満載。あねさにとっては、池の主の大蛇になることは、青天の霹靂、十三夜の摩訶不思議なできごと。



ブログ

令和3年陸月

寒波のなかで 静かに鐘の音を聞く
「大蛇になったあねさの語り」



種本

「大蛇の目」

かわいそうでなみだがでそうな話



「天下りかつか-鬼婆になつての語り」

この身は浅ましい鬼婆となり果てても、子を思う母の心のいじらしさ。思いはいつまでも生き続け、果てることがない・・・だから鬼婆は死ぬことがない？



ブログ

令和3年如月

地震も思い出のようにやってくる
てんじゆく国生まれ

「天下りかつか-鬼婆になつての語り」



種本

「鯖売りと鬼婆」

こわくてふるえる話



「山賊女房お花の語り」

大人のメルヘン。苦勞を重ねてもこんな未来が待っているのなら、いくらでも生きていけるわ。人生がこうであつたら、思うだけでも明日が楽しみになりそう。



ブログ

令和3年弥生

雪解けの日 まっすくな目に出会えた

「山賊女房お花の語り」



種本

「山賊の弟」

心をうたれてじーんとする話



「みなしご山猿きっきの語り」

きっきは川上からやってきて、山の神様に拾い上げられた。今、また川に落ちたけど、これから陸に這い上がって、きっきの新しい人生が始まる・・・がんばれ、きっき。



ブログ

令和3年弥生

春風の日 どんぶら川を下る

「みなしご山猿きっきの語り」



種本

「猿むこさ」

こわくてふるえる話



「竜宮生まれ乙姫ばばさの語り」

時がめぐると、姫はばばさに。また時がめぐって、ばばさは姫になるかしら。時計の文字盤をまわって、まわって、あなたなら何周くらいできそう？



ブログ

令和3年卯月

花吹雪が舞い始めた日らしく年暮らし

「竜宮生まれ乙姫ばばさの語り」



種本

「犬と猫と宝槌」

心をうたれてじーんとする話



「青いみつばちブンブンの語り」

あなたには見えるの？幸せを告げにくるといふ、小さい青いみつばちが。目を凝らしたら見つかるのかしら？耳を澄ましたら聞こえるのかしら？ブンブンの羽音が。



ブログ

令和3年卯月

そよ風の日 金甕を教える

「青いみつばちブンブンの語り」



種本

「夢買長者」

ふしぎさにひきこまれる話



「長い長い名前の子の語り」

長い名前の子は、大きい声で泣いて、へびどんに助けを求めたのね。かかさのところにもどれてよかった。ととさとかかさの願いのとおり、長くゆっくり暮らしてほしい。



ブログ

令和3年皐月

特別警報の合間に 井戸に落ちた

「長い長い名前の子の語り」



種本

「長い長い名前」

おかしくておなかをかかえる話



「鏡杉の語り」

鏡杉さん、500年の大木なのにとっても控え目な気性(木性)ね。姿は鏡板になったけど、これからは毎日、美男美女の村人の顔も見られるから、かえってよかったかな・・・



ブログ

令和3年皐月

ワクチン接種も始まったこの頃 解体・引っ越し

「鏡杉の語り」



種本

「鏡杉」

ふしぎさにひきこまれる話



「月子あねさの語り」

丸い光るものの中にいたのはだれ？あんにゃさの隠し女子じゃなかったんだ。なーんだ、あたいかかさだったのか・・・あたいを見に来てくれていたのか。



ブログ

令和3年皐月

皆既月食の晩 鏡のなかの母

「月子あねさの語り」



種本

「あんじよさんの裁判」

とんちとちえでうーんとうなる話



「末っ子うさぎの語り」

春になると草木が萌えて、生命の息吹が。末っ子うさぎの成長もうれしい。フッケ口の川泳ぎも気持ちよさそう。信濃川も豊かに流れて・・・



ブログ

令和3年文月

よだれのせいではないが所により大雨 春が楽しい

「末っ子うさぎの語り」



種本

「兎とフッケ口のどびっくら」

おかしくておなかをかかえる話

